

DevOpsテストデータ管理 by Delphix

月間数百万回のCI/CD処理を実現し、高品質なソフトウェアを迅速に提供

DXには最新のテストデータ管理手法が不可欠

企業はテストデータ管理（TDM）を一元化することで、スケールメリットを得てきました。テストデータのサブセット化、マスキング、データ生成などを行うツールを利用することも少なくありません。しかし、DevOpsの導入に伴って新たな課題が浮上してきました。ソフトウェア開発チームのメンバが、しばしば自分のリクエストが長い待ち行列の後ろに並んでいることに気づいてしまうほど、チケットで管理されたテストデータの提供プロセスは効率の悪い手作業に依存していたのです。

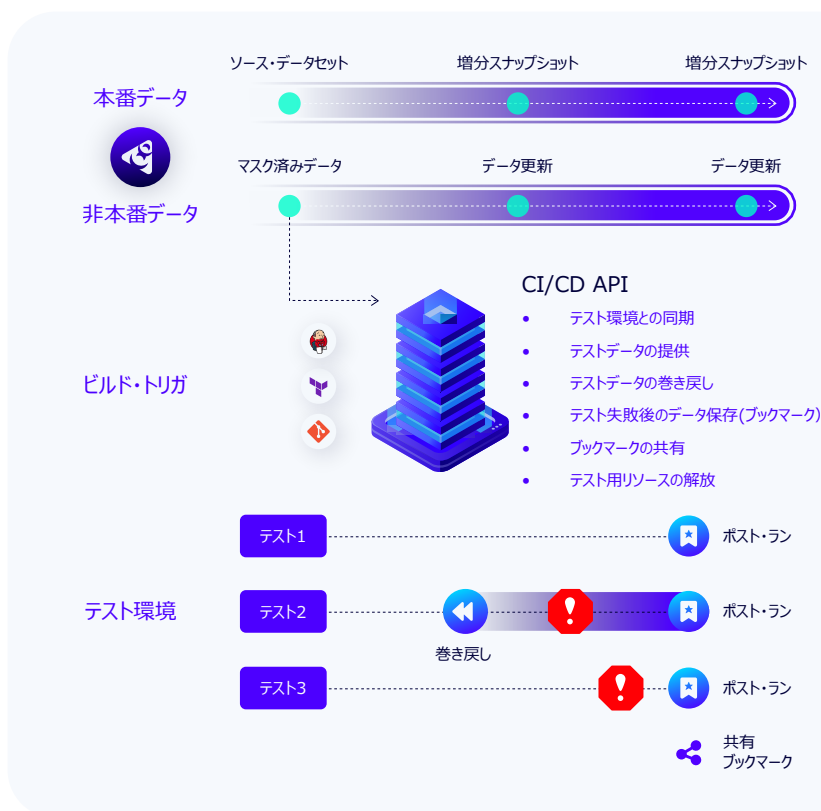
開発チームのニーズに迅速に対応できる、DevOpsやCI/CDパイプラインを導入した開発環境において、手作業に依存した旧来型のテストデータ管理は全く受け入れることができません。時間がかかり品質の低いテストデータを利用すると、生産性や品質に関するDevOpsのメリットの多くが失われてしまいます。DevOpsチームは、一層の生産性と品質の向上のために、旧来型のテストデータ管理手法を拡張し、統合APIを介したCI/CDパイプラインへのデータ配信を自動化する必要があります。

セキュリティ要件をみたしたリアルなテストデータを数分で提供

Delphixは、データマスキングとデータベース仮想化を組み合わせ、マルチクラウド環境に対応したAPI経由で利用可能なDevOpsテストデータ管理ソリューションを提供します。コンプライアンスに準拠しセキュリティ要件をみたしたテストデータを、必要な数だけテスト環境にオンデマンドで提供することで、それぞれの開発チームは独立した環境で、より網羅的な単体テストと統合テストを構築して実行することができます。他のチームのデータリソースについて配慮する必要はありません。

また、管理者はDelphixのデータマスキングによって、ユーザーにテストデータを提供する前に機密データを特定してマスキングすることができます。

Delphixのデータベース仮想化は、テストデータのリフレッシュ、巻き戻し、ブックマーク、グループ化、タグ付け、ブランチ、共有などの機能をAPI経由で提供することによって、DevOpsの生産性を高めてアプリケーション品質の向上を加速します。



特徴

さまざまなテストデータソースと同期

Delphixは全ての主要クラウドとアプリケーションで動作し、複数世代のデータソースと同期してデータ変更の完全な記録を取得・保持します。

- 無停止、常時同期
- 本番データソース、バックアップデータ、ステージングレプリカ、との接続
- 10倍のスペース効率でデータを効率的に保存

データセットを効率的にバージョン管理し、本番環境の外部に提供。

データセットを効率的にバージョン管理し、本番環境の外部に提供。

- より高いコスト・パフォーマンスでデータセットを即座に展開
- コンプライアンスに準拠したデータセットの同期、バージョン管理、配布を迅速に実行
- バージョン管理されたデータセットをマルチクラウド環境に簡単に配信

データ・コンプライアンスの自動化

GDPR、CCPA、HIPAA、個人情報保護法、などのコンプライアンス要件を満たすために、センシティブなデータ値を自動的に識別してマスクします。

- データ項目間の整合性の維持
- リアルな値でマスクしロジックのテスト品質を向上
- さまざまな要件に対応した定義済みのマスクング・アルゴリズムはカスタマイズにも対応

DevOpsのスピードでテストするための環境構築

DevOpsのスピードでテストするための環境構築

- CI/CDパイプラインへのデータ配信の統合
- テスト投入後のデータのクリーンアップ
- テスト用リソースの起動・停止

オープンで拡張可能

Delphixは、複数世代にわたるマルチクラウド環境でのデータ運用を実現するためのAPIを提供します。

- 包括的なREST API 群
- CI/CDおよびモニタリング・ツールとの統合
- 本番データと継続的に同期、開発環境でリフレッシュ

主なメリット

プロジェクト開発サイクルを加速

鮮度が高く、コンプライアンスに適合した完全なデータセットを自動的にプロビジョニングします。網羅性の高い単体テストと統合テストを並行して実行し、テストの実施サイクルを加速することで、開発生産性と品質を同時に高めることができます。

ソフトウェア品質の向上

マスク後の本番データは、開発者がコードを徹底的にテストして潜在的な不具合を発見できるように、実際のデータ処理に対応したリアルな値でマスクングされます。

コンプライアンス要件への対応

GDPR、CCPA、HIPAA、並びに、個人情報保護法のコンプライアンス要件を満たすために、本番データに含まれる機密データを特定してマスクングします。